



## 令和5年第1回定例会

# 議会だより

第186号  
令和5年6月

発行／喜茂別町議会  
編集／議会広報編集委員会

### ●もくじ

第1回定例会及び第1・2回臨時会 審議された議案と結果……………	P 2
第1回定例会	
議案の審議要旨……………	P 4
総括質疑……………	P 5
予算特別委員会……………	P 11
副町長に係る条例審査特別委員会……………	P 17
議会の動き……………	P 20
新たな議会構成……………	P 20
編集後記……………	P 20



## &lt;指定管理者の期間の変更&gt;

指定管理者の指定の期間の変更	喜茂別町公園及び喜茂別町特産物直売センターの指定期間を令和7年3月31日までに変更	原案可決	
----------------	---	------	--

## &lt;令和4年度補正予算&gt;

一般会計（第11回）	全日本小・中学生スキー大会、小学生選抜クロスカントリー大会出場経費として90万円増額（専決処分）	原案承認	
一般会計（第12回）	各科目の不用額の減額補正、胆振線代替バス路線維持費補助金の増などにより7443万3千円を増額	原案可決	質問あり 4ページ
一般会計（第13回）	中山峠浄水場、排水ポンプの修繕費40万円の増額	原案可決	
国民健康保険特別会計（第2回）	一般会計繰入金金の増額、国民健康保険繰入金金の減額、事業費確定に伴う不用額の減額、後志広域連合分賦金の増額などにより33万6千円の減額	原案可決	
介護サービス事業特別会計（第1回）	不用額の減額、サービス利用者増に伴い給付費を増額、繰入金を減額により10万円の減額	原案可決	
後期高齢者医療特別会計（第2回）	保険基盤安定負担金の減額により61万2千円を減額	原案可決	
簡易水道事業特別会計（第4回）	使用料の増額、不用額の減額などにより96万円を減額	原案可決	
公共下水道事業特別会計（第4回）	使用料の増額、入札による委託業務費確定による不用額の減額などにより264万2千円の減額	原案可決	

## &lt;発議案&gt;

喜茂別町議会の個人情報の保護に関する条例の制定	内容：国の個人情報保護法の統一による条例制定 提出者：菊地議員 賛成者：小川議員 館内議員	原案可決	
-------------------------	--	------	--

## 令和5年第1回臨時会（2月16日）

町長より1件の行政報告がありました  
①損害賠償請求訴訟について  
審議内容は以下の通りです

## &lt;条例制定&gt;

喜茂別町に副町長を置かない特例条例を廃止する条例	副町長を置かない特例条例を廃止	附帯決議を付して 原案可決	附帯決議 19ページ
--------------------------	-----------------	------------------	---------------

## &lt;令和4年度補正予算&gt;

一般会計（第9回）	北海道中学生スキー大会、全国中学校スキー大会出場経費として63万円増額（専決処分）	原案承認	
-----------	---	------	--

## 令和5年第2回臨時会（3月30日）

## &lt;令和4年度補正予算&gt;

一般会計（第14回）	産地生産基盤パワーアップ事業補助金により82万1千円増額（専決処分）	原案承認	
一般会計（第15回）	町道除排雪業務の不用額による減額、臨時道路除雪事業補助金の増額、など619万円減額	原案可決	

## &lt;令和5年度補正予算&gt;

一般会計（第1回）	コロナワクチン接種に要する経費等620万円増額	原案可決	
-----------	-------------------------	------	--

## 令和5年第1回定例会（3月10日～3月16日）

3月10日	町長より以下2件の行政報告がありました ①支笏洞爺国立公園の名称変更への取り組みについて ②G7札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合について その後、下表の審議（一部は別日程）を行いました 令和5年度予算においては、3月16日に予算特別委員会を設置し集中的に審査（11ページ参照）
3月13日	町長より令和5年度町政執行方針の提案 教育長より令和5年度教育行政執行方針の提案 総務課長より令和5年度一般会計・5特別会計予算の提案
3月14日	町政執行方針、教育行政執行方針に対する総括質疑（5ページ参照）
3月16日	予算特別委員会（11ページ参照）

## &lt;令和5年度予算&gt;

一般会計	総額	30億3152万8千円	原案可決	予算特別 委員会 11ページ
国民健康保険特別会計	総額	7585万6千円	原案可決	
介護サービス事業特別会計	総額	2060万円	原案可決	
後期高齢者医療特別会計	総額	4287万7千円	原案可決	
簡易水道事業特別会計	総額	1億1355万5千円	原案可決	
公共下水道事業特別会計	総額	1億9065万7千円	原案可決	

## &lt;人事&gt;

副町長の選任	東原 弘行氏 昭和38年4月2日生	原案同意	
--------	-------------------	------	--

## &lt;条例制定&gt;

個人情報の保護に関する法律施行条例	個人情報の保護に関する法律の施行に関し必要な事項を定める	原案可決	
個人情報保護審査会条例	喜茂別町個人情報保護審査会を設置し、組織に関する事項、所掌事務について定める	原案可決	

## &lt;条例改正&gt;

個人情報の保護に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例	個人情報保護に関する法律の一部改正、個人情報保護条例の廃止を踏まえ、関連条例の改定	原案可決	
職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例	令和13年度までに定年を65歳まで引き上げる、管理監督職勤務上限年齢を60歳、定年前再任用短時間勤務制導入	原案可決	質問あり 4ページ
地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	地方公務員法の一部を改正する法律、職員の定年等に関する条例などの施行に伴い、規定を整備、改正する	原案可決	質問あり 4ページ
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例	法律の改正による内閣府令の一部改正に伴い、条例の一部を改正	原案可決	
家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例	厚生労働省令の一部改正に伴う条例改正	原案可決	
放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	放課後児童支援員認定資格研修の受講機会の拡大を図るため、設備及び基準の改正	原案可決	

# 議案の審議要旨

職員 の 定年等 に関する 条例の 一部を 改正する 条例の 制定について

## 菊地議員

定年年齢を60から65にするにあたり、経過措置として令和5年から2年に1年ずつ引き上げ、令和13年以降で65歳になるという理解でよろしいか。

次に、定年の特例で、高度の知識、技能、経験を必要とする場合は延長できるとしているが、どのような職種を指すのか。また、通常において60歳を超えての管理監督職員はいないという理解でよろしいか。

## 菊地総務課長

経過措置については、そのとおりである。

特例に関しては、本町としては現時点で想定される場面は今のところは考えられない。

しかし、例えば将来的に病院等を直営で運営していると仮定して、医師等が確保できる見込

みがない場合は運用することも可能かもしれない。

60歳超えての管理監督者については、原則的にはいない。

地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について

## 菊地議員

降任等の該当職員の給与は、どのようになるのか。

## 菊地総務課長

当分の間は60歳前のピークの給与の7割相当を支給できる経過措置を設ける。

## 令和4年度喜茂別町

## 一般会計補正予算(第12回)

## 山下議員

企業版ふるさと納税の詳細と、非課税世帯等臨時特別給付金が百50万減っている理由を伺う。

## 井原まちづくり振興課長

ふるさと応援寄附金は、セイコーマートからで、福祉の事業に活用したい。

## 東原元気応援課長

住民税非課税世帯等臨時特別給付金については、未申請の部分がなかったので、その差額分を今回減額する。

## 山下議員

町側からその対象者に対して案内したけれども、申請がなかったということではよろしいか。

## 東原元気応援課長

今年度非課税の者に関して、町で分かっている者に対しては、こちらから文書を出している。

それ以外に、課税世帯ではあるけれども、所得が少なくなっていた方の申請が少なかった。

実際に、こちらから文章を出したけれども、申請しない者もあった。

## 山下議員

先駆的実証プロジェクト推進

事業補助金が5百万円減った理由を伺う。

## 井原まちづくり振興課長

アスパラのDXで、事業を見直し減額している。

## 山下議員

担当課長の変更によりプロジェクトの進行不可となったと聞いているが、一人に責任を集中せずに、事業を継続していく体制ができていなかったのか。

また今回5百万円全額減っているが、それまでの間何もしなかったから全額減になっているのか。

## 井原まちづくり振興課長

担当課長がいなくなり、体制が整わなかったと理解している。金額については、今年度は関係機関との連携調整の方で終えている。

## 内村町長

体制が整わなくて、事業としても契約がなされなかったというところで、準備段階で終わっており、支出するべきものがあった。

# 総括質疑



岩部 剛議員

## 岩部議員

防災監の設置の意味合いを伺いたい。

## 内村町長

近年、近郊の町では防災監の設置がされている。特別交付税2分の1の助成があり、ソフト面から様々な形で防災をもう一度基本に返って構築をしていく体制を作っていきたいという考えで、防災監を設置していきたい。

## 岩部議員

私は地域を守ることが町を守り、そして国を守ると考えているが、鈴川駐在所の存続に向けてどのような取り組みなのか。

## 内村町長

2月の段階で倶知安警察署に私と地域の代表の方で赴き、署長に鈴川駐在所の存続について強く要請をした。

また、国道276号の交通安全、防災の関係について、国土交通省倶知安道路維持事務所に要請を行った。

今後、倶知安警察署の署長が4月に代わられた際には地域の声を届けながら存続に向けて取り組みを進めていきたい。

また、場合によっては、道警にも陳情に伺うことも考えている。

あわせて北海道、後志選出の道議の方々にも、地域の要望として機会があればまた要請を行っていく。

## 岩部議員

幼児期における教育の充実に向け幼保連携型認定こども園に関する検討を進めるとあるが、メリットはどのようなところにあるのか。

## 細田教育長

幼保連携型認定こども園というのは、幼稚園と保育所の機能を併せ持つ単一の施設となる。

保育所は、養護を基本として行い、幼稚園は3歳以上の幼児教育を基本として実施するものである。



山下 純議員

## 山下議員

女子野球プロジェクトについて、2年前町長は、介護や福祉施設など人材の確保が大変なところに女子野球の方々がお勤め頂いて、野球をやりながら様々なまちづくりにご協力いただけるといのが趣旨であると答弁している。

本来の趣旨である人材の確保が厳しい介護や福祉施設の就職は実現しているのか、あるいは実現する予定はあるのか。

## 内村町長

残念ながら福祉の部分への就職にはまだつながった事例はない。

今後においても引き続き人材の確保の大変な分野において、なんとか図れるような方策を検討し進めて参りたい。

## 山下議員

現在ふるさと納税の返礼品以外で、野生鳥獣に関わる政策について何か考えていることはあるのか。

## 内村町長

皮の加工、角の部分とか、利用の価値があると思う。

そういった中において協力隊で加工の出来るような方、若しくはそれを目指して地域おこしに取り組みたい方がいれば、採用しながら野生鳥獣の有効な利用について検討を進めていきたい。

また、鹿肉の処理について本町においても地元の中で加工、処理の取り組みができたという事で検討を進めていきたい。

山下議員

私は、地域おこし協力隊が町内に定着すれば成功、定着できなければ失敗だと思っている。個人の熱意や資質によるところがなにより大きいと思うが、町のサポート体制も非常に大きいと思っっている。採用段階から定着まで見据えて動いているのか。また、定着出来なかつた場合、町にも責任があると認識しているのか。あるならどの程度責任があるかと認識しているのか。

内村町長

一概にどれが何パーセントということにはならないと思う。町の体制として定着出来なかつた部分については、一つの要因となるべきものがあるのではないかと認識をしている。



小川泰樹議員

小川議員

町内のスポーツ関係で、素晴らしい活躍をした方に対して、町から祝福する考えはあるのか。

細田教育長

教育委員会で表彰規定を定め、表彰をさせて頂いている。町外の生徒に対しての表彰は行っていない。

小川議員

町内の産業全体で人手不足が深刻な状況にある。各々の企業の努力も大事だが、町として何かできることはあるか。

内村町長

商工会とか関係機関とも十分意見交換をしながら、どういった対応をしていけばいいのか、検討を進めて参りたい。

小川議員

女子野球プロジェクトの最終的な目標は何か。

内村町長

人材の不足というのがここ数年本町にとっては大きな課題と

なっている。

特に福祉介護の部分については、顕著である。

この女子野球と絡めて本町の中で働きながら女子野球が継続できるというのが最終的な目標になろうかと考えている。

小川議員

現在の町立クリニックに対して、診療所を続けて行って欲しいという考えが私にはあるが、町長はどう考えているか。

内村町長

私の考え方としては、現在来ていただいている医療機関に引き続き担って頂けるのが一番いいと考えている。

ただ、人材の確保などについて指定管理という方法がいいのか、若しくは、医師の派遣がいいのか検討しなければならぬ。

小川議員

鈴川小学校の今後について教育長はどのように考えているか。

細田教育長

まずは教育委員会の中で議論をして、また町長との総合教育会議の中で、鈴川小学校のあり

内村町長

まずは、様々な医療機器の整備、それから健康診断への体制の確立といったものも図ってま

やはりそこにおいても人材の確保をとというのがまずは大切なこととなるので、協力しながら早めに体制を築いていけるように進めていきたい。

阿部議員

高齢者福祉について、行政の役割には限界があると思うので、町内会の位置づけが大事だと考えている。

大町第二町内会が毎月15日、独居高齢者を対象に見回りパトロール隊が警察と共に巡回をし、安否確認を実施しており、行政に状況を伝えていく。全町内会にも参考にして普及してはどうか。

内村町長

地域包括支援ケアの関係については町内会の役割、地域の住民の方々の役割というのは非常に大きなものがあるかと思う。そういった取り組みを、情報

方について議論を深めた中で、教育委員会としての考え方を取りまとめ、保護者と意見交換したいと考えている。3月中には保護者と第1回目の意見交換会、説明会をさせていただきたいと思っている。



阿部昭司議員

阿部議員

ウサパラ号の効率的利便性については、今後どのような運行を考えているか。

内村町長

現状の停留所方式の地域交通のあり方がいいのか、若しくは、様々な形を組み合わせたようなものがあるのか、調査をさせていただきながら、できるだけ早い段階において一定の形をお示しできるような体制をとってきたい。

阿部議員

今のウサパラ号は、ルートをと

共有することによって、町全体でその取り組みができるようなことが望ましいことだと思う。



館内 榮議員

館内議員

農業用排水の土砂撤去、各地域ではやっているが、市街の近くの農地はほとんどやってないような感じだと思う。何で出来ないかと思ったら、トラフが入っている。

内村町長

今後の防災という観点から、豪雨のときに、思わぬ災害の引き金となる可能性もあるので、現場の確認を都度しながら、土砂撤去の方策について検討を進めていきたい。

館内議員

昨年度も尻別橋の上のカーブに担当課長にも言って開発に鹿出没注意という看板をつけると

内村町長

デマンドバスも、一つの方法であると思うし、個別の方々へタクシーチケットを配布するのも一つの方法ではないかと思う。

様々な角度から利用者のニーズも調査をさせていただいた上で、令和5年度の中で、一定の方向を出せるよう進めて参りたい。

阿部議員

町立クリニックについて、継

いうふうになっていたが、看板が立ってない。町に看板の設置等を考えてもらいたい。

### 内村町長

町の方で設置をするということも一つの考え方と思うが、まずは道路事務所に強く要請をして参りたい。



松田 薫議員

### 松田議員

推進というのは行政用語で、促進という文法は、どっちかかっていうと、ビジネス用語だなと思う。

執行方針の中で、この使い分けに関して意図するものがあるのか。

それと、推進という言葉があった場合には、我々一般人はたいしたことはやらないんだなという印象も持つ。

促進となると一生懸命にやるというイメージを受ける。

この違いは何か。

### 内村町長

意図的なところを持って記載したわけではない。

### 細田教育長

私自身は強い思いを持って推進として表現させて頂いている。

### 松田議員

執行方針は、あくまでも公文書である。

後々まで残るわけだから、きちっと精査した上でやってもらいたい。

職員が見ても町長に誰も言わない。

ここにちよつとした一抹の今後の不安というものを感ずる。

### 内村町長

言葉の部分の職員との共有、公文書としての精査の部分については、全く私もそのとおりというふうには認識をしていない。

十分精査をしながら努めていきたい。

運営についての配慮、それから協力できることは協力するという表現はいいと思う。

ただ、クレードルについては、町も出資しており、町長は役員としてクレードルの経営陣であるので、経営に関与することは、むしろあるべきだと思う。

しかしながら、クレードルの経営状況が、どれだけ大変なのか、議会の方にはなかなかお示しになっていないという率直な感想を持っている。

その辺の町長の考え方をお聞きしたい。

### 内村町長

経営という言葉の使い方については、今後配慮をしてみたい。

クレードルの経営については、取締役会の状況についてご報告をさせて頂いたと記憶をしている。

今後取締役会を含め今月の末にも株主総会等があるので、さらに意見を申し上げる機会も設けていきたいと思う。

### 細田教育長

義務教育のあり方の結論については、私としては令和7年度



日下博文議員

### 日下議員

小中一貫教育は必要だと思っているが、今後、教育委員会として教育長としてどのように検討していくかお聞きしたい。

次に町立クリニックスの件で、私としては、財政が厳しい中で無限にお金をつぎ込める状況ではないというふうには思っている。

しかしながら一方で、住民の安全安心のためには医療機関は出来る限り残すべきだという思いもある。

私としては、近隣の町村と意見交換をし情報公開をしながら、広域連携で医療の確保を進めていくべきだと思う。

町長の考えを伺う。

それから執行方針に、道の駅望羊中山並びに郷の駅ホツときもべつの経営に対して配慮すると記載されている。

一民間企業に対して資本関係

までには、結論を出していきたいと考えている。

### 日下議員

一貫校については、是非教育長の任期中に、議論の方向を定めてやっていただきたい。

それと、校舎が今三つあるが、一貫校にするときに、新たに建てるべきだと思う。

役場庁舎も、相当傷んでおり、できるかどうかは別にして、今の中学校は、庁舎として利用することも頭に入れながら、総合的に考えていただきたい。

クレードル興農に関しては、いろいろ投げかけてくるけど答えが返ってこないではなくて、原料を供給している農家やJAの話をもとめた上で、町としてどうするかを積極的に発信していくべきだと思う。

### 内村町長

クレードルの経営については、これまでも意見交換をしているし、農協の理事を含め意見交換もしているので、また引き続き経営陣のほうと調整をした

い。北海道も大きな株主なので、北海道への支援の要請も考えて

もない町が経営に対して配慮するというのはどういう考えに基づいて、こういう表現をされているのか、伺いたい。

### 細田教育長

小中一貫教育の義務教育学校という形を活用して、1年生から9年生まで幅広い世代が一つの学校組織の中で学んでいくことについては、非常にメリットが大きいと思っている。

今後、小中一貫教育の推進について検討を進めて参りたい。

### 内村町長

町立クリニックスについて今すぐどうこうということはなかなか申し上げられないと思うが、近隣町村との連携といった部分については、少しずつではあるが進んできているところもある。

できるだけ早い時期にどういった形ができるのかといったことについて、一定の方向性を出せればと考えている。

幸いにして、コロナウイルスのワクチンの関係ではこの羊蹄山麓7町村が連携をして様々な医療機関との連携も含めて実施をしてきた。

また倶知安厚生病院の改築も

いかなければならない時期ではないかなと思うので、対応して参りたい。



菊地光男議員

### 菊地議員

町長は、就任以来本町の財政の厳しい状況を意識した発言が多かった。

しかし、本年度の執行方針の中で、財政状況を述べる文言が見当たらない。

幾度となく町の財政の健全化に関しての質問をしてきているが、今後における財政の健全化に向けた取り組みに対する考え方を伺う。

### 内村町長

財政については、不断の努力を職員と共に重ねていくことが必要と思う。

また、出ていくものばかりを抑制するということで財政の健全化は図れないので、入りを増やしていくという努力をしなけ

小中一貫に対する思いはおそらく同じだと思うので、教育長なりに、何年間を目標にして一定の結論を出していきたいという思いを答弁いただきたい。

### 日下議員

施設を貸している立場として、継続的な経営が可能かどうか、施設の整備にあたっていくという中で、この経営に対して配慮をしていくという表現になった。

合わせて検討しながら羊蹄山麓の地域医療のあり方についてできるだけ早い段階でお示しできるような体制をとっていかねばというふうには考えている。

それから、経営に対して配慮するという部分については、それぞれの施設、築年数も経ってきている部分もあって、設備、施設の老朽化が出てきている部分もある。

施設を貸している立場として、継続的な経営が可能かどうか、施設の整備にあたっていくという中で、この経営に対して配慮をしていくという表現になった。

小中一貫に対する思いはおそらく同じだと思うので、教育長なりに、何年間を目標にして一定の結論を出していきたいという思いを答弁いただきたい。

町立クリニックスについては、町長も考え方は一緒だと思っ

ているので、是非リーダーシップを取りながら取り組んでいただきたい。

観光施設の件について、経営に関してという言葉は軽々しく使うべきではない。

ればならない。

令和5年度において、ふるさと納税の強化を図るため、ふるさと納税応援寄附強化支援補助金を創設をして、返礼品の充実を努めてまいりたい。

人口減少の基調については、少しでも現状を維持できる取り組みを検討し、具体的に進めて参りたい。

様々な企業の社員の寮とか、住宅の誘致とか検討を進めて参りたい。

令和4年度以降、物件費の急激な上昇が見られ、燃料価格、物価の高騰が要因と思う。

公共施設の電気使用量、燃料費の抑制が大きなこととなるうかと思うので、今現在進めている環境省の交付金事業を推進する中で、各公共施設のLED化、そして化石燃料を使用しない暖房設備への改修などは急務と思う。

このためゼロカーボン事業を着実に推進をして、物件費の抑制も図って参りたい。

さらには、現在地方交付税への国の法定率は、所得税、法人税のそれぞれ33.1%、酒税の50%、消費税の19.5%、地方

る。

地方自治法に定める地方公共団体の健全な発達を保障していくためには、持続可能な運営ができる財源の確保というのが不可欠と思う。

このため、法定率の引き上げについては、全国町村会をはじめとした地方六団体がことあるごとに、要望しているが、国に対して引き続き要望を行って参りたい。

### 菊地議員

副町長を置いた後の役員内の執務体制の改善と、健全な業務の遂行に向けてのように行っていくかと考えているのか。

### 内村町長

本年度においては統一地方選挙が行われるため、選挙の業務が落ち着いた段階で、異動等に当たって参りたい。

このため、7月までは、副町長就任後も現在の課の業務については事務取扱として引き続き担任していただくことも検討していきたい。

組織機構の見直しについては、副町長をはじめとした事務改善検討委員会により、全体的

な調整を図り令和6年度を目処に進めて参りたい。

そのような中で日常の業務でのコミュニケーションの活発化、情報の共有が図られてまいりと思うので、取り組みを進めていきたい。

### 菊地議員

昨年度は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を財源に農業経営者に対して約1千1百30万円の支援を行ったが、本年度は計上されていない。

昨年度の支援のみで改善したとは言えないことから、本年度においても何らかの支援が必要と思う。

農業経営者に対する支援事業を本年度内の補正で対応をする考えがあるのか伺う。

### 内村町長

令和5年度において引き続き燃油や生産資材の価格は高止まりといった状況にあると認識をしているが、上昇分については、価格へ転嫁されるべきものと考えている。

本年度においては、適正な農産物の価格が形成されると思うので、現段階においては、昨年

度実施した対策については検討していない。

今後、農産物の価格に適正に反映をされていない場合については、同様の対応も検討をしなければならぬ。

また、地力維持増進対策について、補助金の増額によって、地力の推進を図り、肥料の使用量低減に繋げる。

基幹作物である馬鈴薯であれば、土壌消毒などの複合的な対策を支援することにより、化学肥料の低減を図り、品質の向上と安定的な生産で農家所得の向上に繋げたい。

次の定例会は  
6月20日ごろを  
予定しております。

町民の方の傍聴をお待ちしております。

日程は、IP告知端末又は議会事務局  
(TEL33-2217) で確認ください。

# 予算特別委員会

## 岩部委員

野菜収穫体験の内容を知りたいのと、令和5年度は実施内容にどのような違いがあるのか。

## 井原まちづくり振興課長

町内の農家と協力して、収穫体験を実施してきた。

好評だったことから令和5年度についても、町外の方々に町に来てもらえるように計画をしている。

そのほか様々な町内の資源を活用できるような体験メニューを考えている。

## 岩部委員

様々な体験メニューというのは、具体的にどのようなものか。

## 井原まちづくり振興課長

例えば冬期間に来ていただけるようなイベントメニューとか、インバウンドの方々の交流とか、町の資源を活用したメニューを計画予定している。

## 岩部委員

国道276号線の鈴川のバス停について、小学校の先生や住民が普段除雪をしているが、例えば排雪をもっとマメにしてもらえるとか、対策は取れないか。

## 井原まちづくり振興課長

これまでも管理に努めているが、引き続き令和5年度も努めてまいりたい。

## 岩部委員

執行方針に「地域共生社会を引き続き目指すとともに、できる限り町民のニーズに合った、かつ効率の良いワンストップサービス提供を可能にする仕組みを模索する」とあるが、内容を教えていただきたい。

## 東原元気応援課長

溪仁会、愛和福祉会、社会福祉協議会と町が共同で何か住民のためにできないかということ、今4者協議で、色々なことを考えている。

その中のひとつとして、障害者、子ども、高齢者の相談窓口がそれぞれ色々な箇所にあるの

で1本化し、1か所で相談が行えないかということを検討している。

## 岩部委員

学校教育について、令和5年度から始まる新たな研修制度とは、具体的にどのようなものか。

## 細田教育長

これまで教員については、免許更新制度というものがあつたが、昨年の7月1日で廃止となり、国は令和5年度から新たな研修制度を設けるとした。

一人ひとりの教員がどのような研修を積んできたかという履歴を見ながら、年間2回個人面談を行いながら学校長が研修の指導を行っていくという制度になっている。

## 山下委員

農業体験に関して、令和4年度に行われたものは、札幌市役所の職員向けの福利厚生の一環としての体験だったと思っっているがその理解でよろしいか。

## 井原まちづくり振興課長

そのとおりである。

## 山下委員

5年度に関しては札幌市役所の職員以外の人をターゲットとした体験イベントを実施するという計画でよろしいか。

## 井原まちづくり振興課長

札幌市の方々に引き続き来ていただけるようなものと、新たなもので他の町外の方々に来ていただけるようなメニューを、模索して参りたい。

## 山下委員

令和5年度に関しては、地域活性化起業者がいるので、その方が中心となってできるのかと期待できるが、起業者がいなくなつた後もそれを実施する持続可能な体制ができてくるのか。

## 井原まちづくり振興課長

令和6年度以降については、未確定な部分があるので、出来る限り努めてまいりたい。

## 内村町長

昨年から地域活性化起業者には、企画を実施していただく際には、地域おこし協力隊のメン



バーも加わっていた。令和6年度以降についてもそのノウハウを活かせるような形で考えている。

#### 山下委員

3か月前の定例会で、副町長を置く理由の一つに経常収支比率が下がってきたなど財政が改善したためとの答弁があった。今回の資料を見ると経常収支比率も、財政調整基金も過去10年で最悪の状況だが、改めて財政は改善されたと認識しているのか。

#### 内村町長

経常収支比率については、令和3年度において以前の中では改善が見られるというようなお話をさせていただいていた。地方債の残高については、ここ数年ずつと下がってきている。

令和4年度の予算等ではそこまで多くの財政調整基金の繰入がなかったため、そういった意味において財政の改善が図られているというお話をさせていただいた。

#### 山下委員

令和3年度の基金残高に関し

とが大事だと思うし、魅力ある返礼品の開発をしていかなければならないと考えている。

#### 山下委員

女子野球について、バッテリーを2個購入すると聞いたが、2個同時に使うという理解でよろしいか。

#### 井原まちづくり振興課長

2個同時に使う想定として購入を計画している。

#### 山下委員

バッテリーを本町以外の球場で使うことも想定しているという理解でよろしいか。

#### 井原まちづくり振興課長

町外で使用する事については、想定していない。

#### 山下委員

税金を伴う支援の場合は、地域活性化の効果が期待できるように、ウインウインの関係である必要があると思っている。

移住してくれば一番いいが、難しそうなのでチーム名を「喜茂別ホーネットレディース」

で、ついに北海道で最下位になったが、町長の認識を伺う。

#### 内村町長

私が就任する前の段階で財政係でシミュレーションしたところ、令和4年度の中ぐらいいは財政調整基金が底をつくかもしれないという予測だった。

また、胆振線の代替輸送バス確保基金については、車両の更新等もあったので、ほぼ令和5年度末には底をつくような状況になっている。

一方、ふるさと応援基金等については、年々少しずつたまるようになってきている。財政調整基金を積み上げるとするのは難しい部分もあるが、国の法定率はもうしばらくの間変わってないので、地方六団体が事あるごとに要望している。

#### 山下委員

基金という意味では、私も、もはやふるさと納税しかないのではないかなと考えている。実際、全国的には毎年のように納税額が過去最高を更新している。

にも関わらず、本町の場合は

としばらくするといった提案をしてはどうか。

#### 内村町長

名前に喜茂別を入れてくれと要請をしていくという事は可能ではあると思う。

#### 山下委員

マイナンバーカードの交付率はどのくらいで、後志の中でどのくらいの順位にいるのか。

#### 齊木住民課長

1月末現在で56.4%となっており、小樽含む後志は63.8%となっている。

#### 山下委員

京極や共和町ではコンビニで住民票や印鑑登録証明書が発行できるなど、マイナンバーカードを活用できる体制が少しずつ出来てきている。

本町でも可能な限り活用するべきだと思っているが、今現在どのような活用ができるのか。

#### 齊木住民課長

コンビニ交付については、費用対効果の部分があり、まだ検

1千万円減の予算になっている。これはどういった理由なのか。

#### 井原まちづくり振興課長

他のサイトで他の町村に納税をされている方が増えたことも要因として考えられると思う。

#### 山下委員

ポータルサイトを使って寄附する人が多いと思うが、本町の場合、大手サイトの「ふるさとチョイス」や「楽天」などは使っている。

しかし、その他の大手サイトである「さとふる」とか「ふるなび」などを使っていないようにだが、その理由をお聞きしたい。

#### 井原まちづくり振興課長

他のポータルサイトを詳しく存じていないが、品切れになることも予想されているようなので、そういうような経験と実績を踏まえて現在のサイトを選択している。

#### 山下委員

羊蹄山麓は産業がさほど大きく変わらず、しかも返礼品も互いに活用できるものもある。

討の段階にも至っていない。

#### 山下委員

4月から病院で保険証として使えるようになるという話だったと思うが、本町の病院ではどういう予定なのか。

#### 東原元気応援課長

町立クリニックでも機械等は今購入済みで、今試験をしながら、準備をしており、早い段階でできるようにしていきたい。

#### 山下委員

図書室事務業務で、昨年度機械を導入することによって無人化になったと聞いている。

それで委託料が相当下がると思っていたが、昨年度から7千円しか下がっていない理由を伺う。

#### 丸屋教育次長

昨年システムを導入し1年稼働して、もう少し時間がかかるというところで、次年度以降精査していきながら委託料の部分は考えていきたい。

#### 山下委員

将来的には下げていきたいと

ちょっと調べてみたところ羊蹄山麓トップの倶知安はかなり多くのポータルサイトを使っていた。

羊蹄山麓の自治体がいくつのポータルサイトを登録しているかなど、近隣自治体の状況を把握しているのか。

#### 井原まちづくり振興課長

直近では押さえていない。

#### 山下委員

返礼品の開発自体も大切だが、誘導するためのポータルサイトは大きいものでは20社ぐらいあった。

本町は以前の説明では3つしか利用していないという話だったので、ぜひ調べて参考にしてみてほしい。

私は民間出身なので、政策は他の自治体との競争だという認識があり、度々議会でもそういう発言をしているが、そういう認識を町長は持っているのか。

#### 内村町長

ポータルサイトの増加も1つの方法と考えている。色々な形で知っていただくこ

いう考えがあつて、無人化を始めたのか。

#### 丸屋教育次長

そう考えている。

#### 阿部委員

過日札幌在住の方と話す機会があり、春頃をめぐりに家族と共に本町に移住し、林業関係の仕事我希望と構想を持っている。

実現可能であればゼロカーボンに力強い戦力になると思われ、行政のサポートが必要と思われるが、町長の見解を伺う。

#### 内村町長

様々な形で支援は可能と思うし、町単独のものだけではなく、国の色々な制度も活用しながら、行っていくことができればと思っている。

#### 阿部委員

食用馬鈴薯振興対策事業について、農業経営安定のためにも長い事業の継続が必要不可欠と思うので、町長の見解を伺う。

#### 内村町長

畑の地力の増進と合わせて、

シストセンチュウの対策をしつかりと行いながら、品質の向上、そしてそれが農家の所得の安定に繋がっていくものと認識をしている。

### 阿部委員

執行方針に墓地のあり方について検討委員会を設置するとあるが、どのような構想を考えておられるか。

### 内村町長

検討会の目的としては、現状の墓地のあり方、将来的に墓地が広範囲にあるのはいいか、また、将来的な形態について、意見を伺う。

### 阿部委員

長年本町に住んでおられたがお墓がない、檀家にも入りたくないという方は札幌の集合墓地にいつてるとい話を聞いた。墓地公園というのも視野に入る必要が私はあると思うが、町長に見解を伺う。

### 内村町長

検討の対象になると思う。

### 井原まちづくり振興課長

無償で貸し出すと考えている。

### 小川委員

普段の保管方法は球場内に出しっぱなしという認識でよろしいか。

### 井原まちづくり振興課長

その通りである。

### 小川委員

高額なものだが、盗難防止対策とかは考えているか。

### 井原まちづくり振興課長

簡単に持ち運べるような仕様ではないが、盗難については適切に管理させていただきたい。

### 小川委員

昨年度ホーネットレディースが北海道新聞のクラウドファンディングで、目標金額2百万円設定して、最終的に92万5千円の支援を集めて、ピッチングマシーンと防球ネットを購入したというのをフェイスブックなどで見た。そのピッチングマシーンや

### 小川委員

墓地検討委員会の構成はどう選ばれるのか。

### 齊木住民課長

法律に関する専門家や、町内の有識者など、広い範囲で検討していきたい。

### 小川委員

調査はいつから予定されているのか。

### 齊木住民課長

5月の下旬ないし6月以降に測量調査を始める。

### 小川委員

郷の駅管理費でWi-Fiの環境整備業務委託料とあるが、郷の駅道路挟んで対面の空き地まで届くことは想定されているのか。

### 井原まちづくり振興課長

今回の整備については、情報発信プラザ内の必要最低限の整備にとどめ、超える部分については、今後の課題とする。

ネットは、本町の野球場で使う時にも使用されているのか。

### 井原まちづくり振興課長

把握していない。

### 小川委員

クラウドファンディングのページを見たら、当初の目標だと、ピッチングマシーンと防球ネットに加えてバッテリーゲージも購入したいと書かれていた。今回そのクラウドファンディングでバッテリーゲージを買う余裕がなかったから、ホーネットレディース側が言ってきたと私は認識しているが、そこから辺の話し合いはあったのか。

### 井原まちづくり振興課長

そのような詳細については、把握していない。

### 小川委員

ガバメントクラウドファンディングについては今後どのような動きを想定しているのか。

### 井原まちづくり振興課長

具体的な時期については、まだ未定である。

### 小川委員

地域活性化起業家の交流事業の報償6万3千円というのは、参加された方が収穫された野菜代と、町内のカフェで使えるコーヒー無料券も含まれているか。

### 井原まちづくり振興課長

お土産代部分については、参加料の中から賄うものであり、報償費については、ボランティアの謝礼として計上している。

### 小川委員

4年度ボランティアされてた方には報償はなかったと思うが、5年度以降からはつけるということか。

### 井原まちづくり振興課長

昨年度の実績を踏まえ、5年度は、報償費として計上した。

### 小川委員

地域おこし協力隊について、現在何人いて、何をやっているのか認知されていない部分があると思う。今後協力隊が頑張っていると

### 小川委員

例えば来年度、今度はピッチングマシーンが欲しいという話が出てきた場合は、検討しながら応じていくという考え方でよろしいか。

### 井原まちづくり振興課長

限りある財源だと認識しているので、現時点ではそのようなことはまだ考えていない。

### 小川委員

今マイナポイント合計2万ポイントもらえるキャンペーン中で、1万5千ポイントについては自動に振り込まれると思う。しかし、残りの5千ポイントを自分で2万円なりチャージして獲得するという方法を全く理解していない町民が結構いる。役場で申請された時には、ちゃんと説明しているのか。

### 齊木住民課長

適切に丁寧に説明はさせて頂いている。

### 小川委員

木育遊具設置工事2百万とあ

いうアピールを町でするとしたら、どのように考えているのか。

### 井原まちづくり振興課長

IP端末とか広報紙などで引き続き住民の方々に知って頂けるような活動と、町内のイベント等で町民の方々と出来る限り触れあう場を提供したい。

### 小川委員

今回でバッテリーゲージを購入するのか。

ホーネットレディース側から欲しいということがあっての予算計上なのか。

### 井原まちづくり振興課長

ホーネットレディース側からの要望に基づき、今回バッテリーゲージの計上になった。町の備品として購入するので、ホーネットレディースのほか、町内で野球を親しんでいる団体にも利用いただけるようなものとして、安全面と耐久性を考慮したものを計上させていただく。

### 小川委員

それは無償で貸し出すということではよろしいか。

遊ぶが、これはどこにどのような遊具を設置するのか。

### 小熊保育所長

保育所のお遊戯室の一角にクライミングを設置していく。

### 小川委員

昨年百万円で34種類の木製玩具を購入したが、効果はどういったものがあったのか。

### 小熊保育所長

知育的に脳にも発達するし、身体全体で使える遊びがあったり、考えながら遊べたり、色々な経験になっていて、とても役立つ。

### 小川委員

生涯学習推進費の報償費で、聞き書き集協力謝礼で3千円とあるが、これは1名分という認識でよろしいか。

### 丸屋教育次長

1名分となっている。

### 小川委員

1人以上増やすという考えは今のところはないか。

## 丸屋教育次長

5年度は1名で予定している。

## 館内委員

有害駆除の関係について委託料で40万4千円とあるが、これと鳥獣被害防止対策協議会補助5百万の違いは何なのか。それと昨年度の有害駆除の実績を報告して欲しい。

## 大元農林課長

委託料については、本町の猟友会と契約しており、日常の巡回や、熊の出没など突発的な場合に対応をお願いしている。

補助金については、実際には有害鳥獣駆除の対応とか、報償金の支出等となっている。

令和4年度の有害鳥獣駆除の状況は、3月14日までで、アライグマが62頭、鹿が3百47頭、熊が5頭である。

アライグマは昨年96頭で若干減少、鹿は3百30頭で若干増加している。

## 松田委員

クロスカントリー大会の経費、何年も前から専決を求める

ということが常態化しているが、なぜ当初予算にきちっと盛り込まないのか。

## 細田教育長

当初予算の段階で予想して予算組みすることについては、非常に難しいものがある。

## 松田委員

全道的に競技人口も減っているし、大体全国大会に行けるという流れがすでに出来上がっているわけだし、これが伝統校といわれる所以だと思う。

そういうものを励みに、子ども達は一生懸命練習もするし、何よりも父兄のご努力とか大変なものがあると思う。

この苦勞を考えると、もう少し積極的に、敬意を表する意味でも配慮してやる方が振興につながるのではないかと思うので、留意してもらいたい。

それと本年度インターハイで、優勝した子が本町の子である。

この人達の活躍というのも、今の伝統を引き継いでいって子ども達にとっても大きな励みになる。

10年20年に一度の慶事でもあ

るから、前例がないとか規定がないとかじゃなくて何らかの形で応えるのが最小限の敬意だと思うが、その辺町長どう考えるのか。

## 内村町長

教育委員会としては、規定がないので、町の方として榮譽を讃える部分の中で何らかの対応を考えていきたい。

それを何らかの制度として築いていくということも必要なことだと思つので、令和5年度の中でまた検討させていただければと考えている。

## 松田委員

本年度目玉のお墓の話で、どのような形で調査を進め、最終的にどういう落とし所が考えられているのか。

## 齊木住民課長

地番はわかっているのですが、測量して場所を特定するところが最優先と考えている。

所在が明らかになった段階で専門的な技術知識を要する民間事業者の手を借りながらそこに実際眠ってらっしゃるのかどう

か調査に入っていく。

それを踏まえて地域の皆さん、墓地の縁故者とかのご意向なども伺いながら、どうあるべきか検討委員会の力を借りながら考えていきたい。

## 松田委員

町に、埋葬した当時の埋葬者の確認ができるようなものは、残っているのか。

## 齊木住民課長

現在埋葬簿のようなものにはない。そういった部分も整理していければという形で考えている。

## 松田委員

改葬するにしても、埋葬者が全く分からないのか。ちよつとイメージとしては湧いてこない。

## 齊木住民課長

他でも取り組んでいる自治体もあると思うので、事務手続きとか勉強させて頂きながら、公告とかで対応していければと考えている。



# 副町長に係る条例審査特別委員会（1月18日）

## 山下委員

2年前の3月の定例議会会で、私は副町長を置かない場合、相応の負担と責任を町長あるいは職員に押し付ける形になって果たしてやっていけるのか懸念していると言った。

今回その懸念が的中したと思っているが、それについてどう考えているか。

## 内村町長

こういう形になってしまったことについては職員に負担がかかってしまったことかと思う。そういった点に注意が足らなかったというのは私の責任であるかと考えている。

## 山下委員

前回の定例議会の質疑で、機構改革しないのかという質問に対して、4月に変えたばかりなのでまだ決められないという回答があった。

私としてはこの4月に変えた

機構こそが大きな間違いだったのではないかなと考えているが、そうは思っていないのか。

## 内村町長

職員の意見等も踏まえて改めていったという経過があるので、誤りだったかどうかというのはまだ判断つかない。

ただ、まちづくり振興課に業務が集中していたということについてはそういう意見もあるのかなと思う。

## 山下委員

私は機構を直ちに改革する必要があると思っているがどう考えているか。

## 内村町長

まちづくり振興課の部分を中心に見直しをかけていくということは考えていかなければならないと思う。

## 山下委員

今回人が亡くなっているので

完璧な再発防止策が求められると思う。

私は機構改革が数少ない再発防止策になると思うが、それ以外で考えていることはあるか。

## 内村町長

人員が足りてないと思うので、場合によっては定数増も考え、見直しを進めていかなければならないと考えている。

## 山下委員

現在の機構に対して職員のコンセンサスは取れているのか。

## 内村町長

年明け後の管理職との意見交換の中でも機構として良い面もあったと言われている方もいる。

全体の中の人手不足をなんとか解消しながら進めていかなければならないと考えている。

## 山下委員

前回の定例議会会で、亡くなっ

た職員とのコミュニケーションが十分であったかどうか検証していかなければならないと思うという発言があったが、どのように検証するつもりでいるのか。

## 内村町長

これまでの様々な業務に対する働きかけを含めて私の中の検証というものになると思う。

## 阿部委員

町長が今現在描かれている機構改革の構図を伺いたい。

## 内村町長

今の機構について、大きく変更するところは考えていないが、係の中で兼務になっている部分とか、業務の割り振りの部分、人手の部分については見直しをかけていきたい。

## 阿部委員

副町長設置については、内部より起用するのか、または外部

からののか。

### 内村町長

内部外部含めて考えている。

### 阿部委員

外部なら、どこの機関に対して要請をするのか。

### 内村町長

道の現職だと、春に統一地方選挙があるという関係の中で、2〜3か月ずれ込むということもある。道のOBも検討をしていければと思う。

### 阿部委員

外部から起用するというのであれば、本町の課題対応についてはちよつと理解するまで時間がかかるだろうなど。

2点目は町民の方々の対応についてもやはり同じようなことが懸念されるだろうなど。

3つ目は、人材育成には繋がらないだろうなど思っている。そのことについて町長にお伺いしたい。

### 内村町長

3点のことについては十分こ

みたいなので、コロナ収束したら交付金来なくなる。

### 内村町長

令和元年11月に策定した財政係の資料では、財政調整基金については令和4年度で、全体の基金についても令和6年度には枯渇してしまうという予測があった。

それらを踏まえて、副町長を置かないで良かったが、先ほど申し上げた事情もあり、職員に負担をかけてしまった部分もあるかと思う。

ただ、無制限に人手を増やすわけには当然いらない。

企業版ふるさと納税で人材を派遣していただくとか、地域おこし企業人も活用し、極力職員の数も抑えなければならぬと考えている。

現状の中で副町長を置いて業務の見直しも含めて、職員との意見交換を行いながら進めていくことが求められているのではないかなと考えている。

### 松田委員

本町の数少ない特別職だから教育長に聞いてみたいが、うち

れからまた検討していきたい。人材を育てるといいう意味では、内部から起用する方がいいとも思う。

### 小川委員

職員の出来事以前から管理職とか職員から副町長は置いて欲しいという要望はあったか。

### 内村町長

早くから管理職の中から副町長を置いて欲しいとあった。

### 小川委員

副町長を置かない状況でも、行政は上手く機能しているのか。

### 内村町長

コロナ禍ということや、大きな災害がなかったということもあって、なんとか通常なりの執行が出来て来ていると思う。

### 小川委員

副町長置くことによってどういう効果があると考えているか。

### 内村町長

職員との意思疎通の部分、そ

のような町の規模で、副町長の設置は必須だと思うか。

### 細田教育長

町長が就任された時に、今後、財政の健全化を優先させるために副町長を置かないとされ、そうしていく必要性はあると認識した。

しかし、振り返った時に、いろんなところで正直歪が発生していたという認識はある。

今後財政面のことも含めて、副町長がいていただくことで、円滑に解決していける一つの方法と認識をしている。

### 松田委員

副町長を置かないでやっていくと言ったとき教育長はそれもそうだなと思ったのか。

### 細田教育長

そのとおりである。

### 松田委員

町民だっただけでまだ行政に対して不信感というのはくすぶっており、払拭していくには、努力してかなきゃならないと思う。

れから様々な調整機能の部分について期待している。

### 松田委員

いろいろ意見は出ているが、どうも釈然としない。

去年のあの忌まわしい事件からちよつと時間が過ぎて、新しい年になって、どんな心境でいるのか。

### 内村町長

亡くなられた課長とは様々な意見交換、そしてまちづくりのビジョンも話し合ってきた。

新たな年、予算編成等々やりながら、その方がいないということについては、非常に残念な気持ちと、自身へのコミュニケーションの足らなさについて、至らなさが錯綜したような状況にある。

### 松田委員

職員が期待する副町長像と自身がやってきた副町長の実態とで、相当の乖離があるような気がして仕方ない。

その副町長が、今町長になって、どういうまちづくりをした

いのか全く伝わってこない中で、機構改革だ、業務の見直しだといってみても、なんら現実感というか期待感というか湧いてこない。

これからまちの舵取りをするのにどうしたらいいか考えた時に、やっぱり財源の問題は避けずには通れない。

あえて副町長を置かないという条例の改正を出したことの妥当性は、たいした高度な判断だと思つた。

それがこの事件を契機に、ゴロつと変わってしまう節操のなさに、町の将来に対する不安というのには払拭できない。

今の議論聞いていたら、業務の見直しだ、機構改革だ、職員定数増やしていかなくつたらやっていられないみたいなお考えの方がベースにあるとすれば、なおさら不安になる。

人口減に伴って、業務量を不断に見直していかなきゃしょうがないと思う。

生産性のないような仕事を、だからやらせているように見える。

たまたまコロナの交付金がいっぱい来たから、体裁保つた

### 内村町長

これから、様々な場面通して説明することもあるだろうし、今後のまちづくりの中で、できるだけ町民の方々に不信感を抱かれないような町政の運営をしていかなければならないと考えている。

### 日下議長

現実問題として、町長の残り任期が1年半の中、副町長受けただけの人がいるかどうかとても心配をしている。

### 内村町長

人選という部分では現状の様々な状況を考えれば、そんなりとはいかならないだろうというふうには私も認識をしている。

#### 附帯決議とは

提案された案の執行に際して、その執行にあたって議会としてあらわすもの。法的な拘束力はありませんが、町長はこの要望や意見を尊重する政治的、道義的な責任を負います。

#### 喜茂別町に副町長を置かない特例条例を廃止する条例の制定についての附帯決議 (抜粋)

喜茂別町に副町長を置かない特例条例を廃止する条例の制定については、特別委員会を設置し、これに付託し審議を経て、賛成多数で可決された。

今後、副町長を置き町政運営を行うこととなるが、これまでの議会等での副町長配置についての議論を念頭に置きながら、選任する副町長をはじめ、職員一丸となり、内村町長が選挙時にテーマとした「ともに喜び 笑顔広がるまちづくり」の実現に向けてより一層の効果的・効率的な行財政運営に努めることを強く求める。

# 議会の動き

令和5年1月16日～令和5年5月16日

月	日	行 事	出席者	場 所
1	18	喜茂別町に副町長を置かない特例条例を廃止する条例の制定についての審査特別委員会	全議員	
	27	喜茂別町に副町長を置かない特例条例を廃止する条例の制定についての審査特別委員会	全議員	
2	13～14	後志町村議長会 役員会・定期総会	議長	札幌市
	15	全国過疎地域連盟北海道支部 役員会 北海道町村議会議員公務災害補償等組合議会 北海道町村議会議長会 理事会 北海道知事と北海道町村議会議長会理事の懇談会	議長	札幌市
	16	第1回臨時会 全員協議会	全議員	
	22	倶知安厚生病院運営委員会	議長	倶知安町
	28	後志広域連合議会 議会運営委員会・定例会	組合議員	倶知安町
	3	6	議会運営委員会	各委員
3	10～16	第1回定例会	全議員	
	24	羊蹄山麓環境衛生組合議会 定例会	組合議員	倶知安町
		羊蹄山ろく消防組合議会 定例会	組合議員	倶知安町
	30	第2回臨時会	全議員	
5	9	第3回臨時会	全議員	
	16	羊蹄山麓町村議会正副議長会 議長会議	議長	倶知安町

## 新たな議会構成

**議長** 日下 博文  
**副議長** 小川 泰樹

## 総務常任委員会

委員長 岩部 剛  
副委員長 林 己人

## 経済常任委員会

委員長 山下 純  
副委員長 越後 宏明

## 議会運営委員会

委員長 菊地 光男  
副委員長 山下 純

## 監査委員（議会選出）

阿部 昭司

## 後志広域連合議会議員

小川 泰樹

## 羊蹄山麓環境衛生組合議会議員

林 己人  
越後 宏明

## 羊蹄山ろく消防組合議会議員

林 己人  
越後 宏明

## 議会広報編集委員会

委員長 山下 純  
副委員長 岩部 剛  
委員 林 己人  
委員 越後 宏明



新たな議会がスタートしました。

今回の喜茂別町議会議員選挙は、無投票はおろか、戦後初の定数割れでした。

1期目は、議員定数の削減も実現できず、新たな候補者も十分に増やすことができず、力不足を大いに痛感しております。

まずは、きちんと定数を削減し、そして、町民の方に議会にもっと関心を持っていただけるよう努力しなくてはいけないなと感じております。

この議会だよりは、そのための大きなきっかけとなると信じております。

今期は、私が広報編集委員長となりました。

議会だよりを改革し、もっと読みやすく、もっと理解しやすく、もっと関心を持っていただけるようにしていきます。

議会広報編集委員長

山下 純